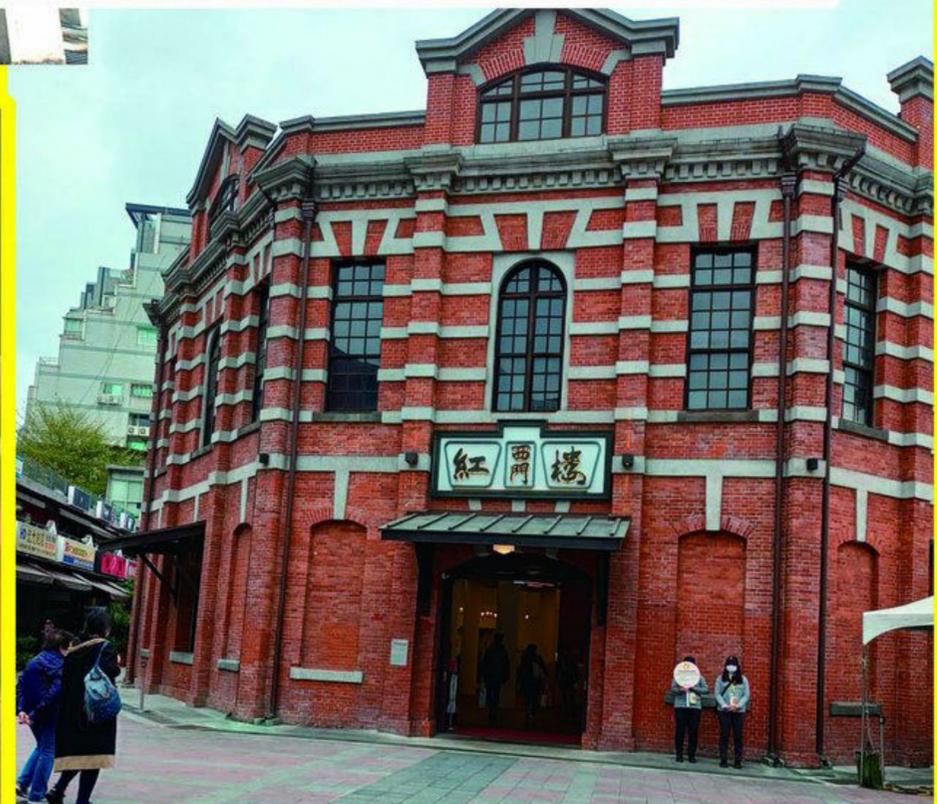
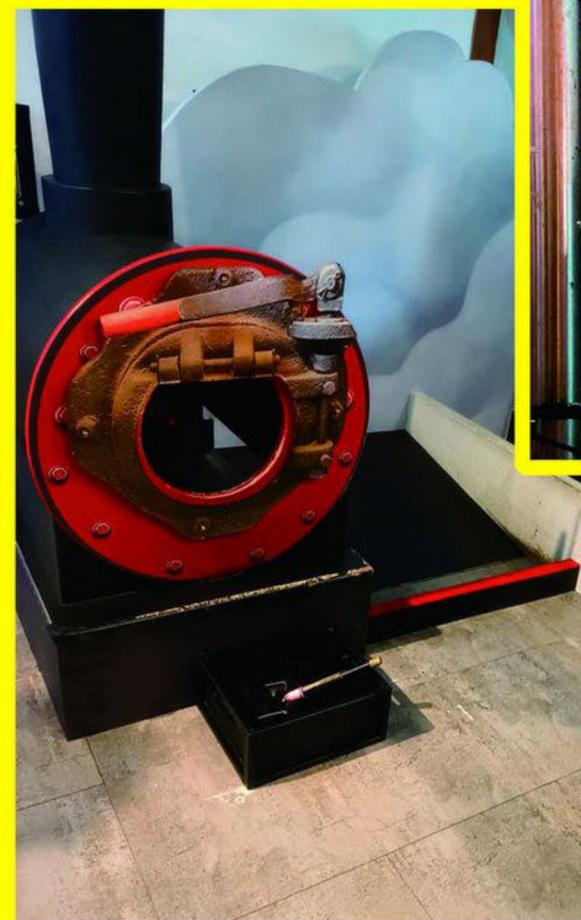


# 台北旅行記 2023



★今回の見どころ★  
LGBT フレンドリーサウナ  
鉄道博物館 / 樟脳博物館  
オタクショップ巡り

# たのしい台北旅行、完全復活



# 目次

<a href="#">この本について</a>	3	<b>PART3 2日目 樟脳・阿片博物館</b>	
<a href="#">Covid-19 をめぐる状況の軟化</a>	3	<a href="#">朝の散歩と朝食</a>	22
<a href="#">そうだ、台北、行こう</a>	4	<a href="#">台北の MRT</a>	23
<a href="#">旅行前の準備</a>	5	<a href="#">金峰魯肉飯で昼食</a>	24
<b>PART1 台湾入国</b>		<a href="#">国立台湾博物館・南門館</a>	24
<a href="#">羽田空港へ</a>	7	<a href="#">南門館のカフェ</a>	27
<a href="#">羽田空港第3ターミナル</a>	7	<a href="#">CardMaster のシールド戦</a>	27
<a href="#">台湾へ</a>	9	<a href="#">古書店を散策</a>	28
<a href="#">Peach 機内 Wifi</a>	9	<a href="#">南機場夜市で鉄板焼き</a>	29
<a href="#">台湾入国</a>	10	<a href="#">バスで西門へ</a>	30
<b>PART2 1日目 観光開始</b>		<a href="#">ドン・キホーテ (DON DON DONKI) 西門店</a>	30
<a href="#">まずは宿へ</a>	12	<a href="#">足マッサージ</a>	31
<a href="#">台湾グルメの開始</a>	13	<a href="#">2日目終了</a>	32
<a href="#">アニメイト</a>	14	<b>PART4 3日目 ゲイサウナ</b>	
<a href="#">とらのあな</a>	15	<a href="#">モスバーガーの朝食</a>	34
<a href="#">BL 同人誌専門書店…はお休み</a>	15	<a href="#">ゲイサウナ…?</a>	34
<a href="#">西門で屋台飯</a>	16	<a href="#">光華商場</a>	35
<a href="#">荷物を置いて、宿で仮眠</a>	17	<a href="#">日式のカツカレー</a>	37
<a href="#">バスで士林夜市へ</a>	17	<a href="#">カードショップ GrowLife (靠過來)</a>	38
<a href="#">FNM ドラフト、できるかな</a>	18	<a href="#">カードショップ Akmigames (艾客米)</a>	39
<a href="#">士林夜市</a>	19	<a href="#">カードショップ Fantasy Toys (幻想遊戲世界)</a>	39
		<a href="#">書店巡り</a>	40
		<a href="#">ベトナム・タイ式中華で夕食</a>	41

<a href="#">いったん宿へ</a>	41	<b>PART6 5日目 観光最終日</b>	
<a href="#">やはり、ゲイサウナ…？</a>	42	<a href="#">コンビニ弁当</a>	57
<a href="#">サウナ受付</a>	43	<a href="#">チェックアウト</a>	57
<a href="#">サウナ体験</a>	43	<a href="#">鉄道博物館</a>	58
<a href="#">ゲイの誘い</a>	44	<a href="#">台北地下街</a>	59
<a href="#">宿に戻って明日の計画</a>	45	<a href="#">ねんがんの 習近プーのグッズを 手に入れたぞ</a>	60
		<a href="#">イタリア料理で昼食</a>	61
		<a href="#">PUIPUIの</a>	
<b>PART5 4日目 みやげ購入</b>		<a href="#">イージーカード検索</a>	62
<a href="#">西門の朝</a>	47	<a href="#">北門まわりを散策</a>	63
<a href="#">コインランドリーに挑戦</a>	48	<a href="#">桃園空港へ</a>	64
<a href="#">台北地下街</a>	49	<a href="#">空港の夕食</a>	65
<a href="#">習近プーを求めて</a>	50	<a href="#">出国</a>	65
<a href="#">石焼ビビンバで昼食</a>	51	<a href="#">ピーチ遅延</a>	66
<a href="#">李氏手工房</a>	52	<a href="#">黒松コーラ</a>	66
<a href="#">中山地下街</a>	52	<a href="#">帰国</a>	67
<a href="#">光點台北（台北之家）</a>	53		
<a href="#">金年華三温暖</a>	53		
<a href="#">天龍三温暖</a>	54	<a href="#">あとがき</a>	68
<a href="#">羊肉炒飯でしめ</a>	55		

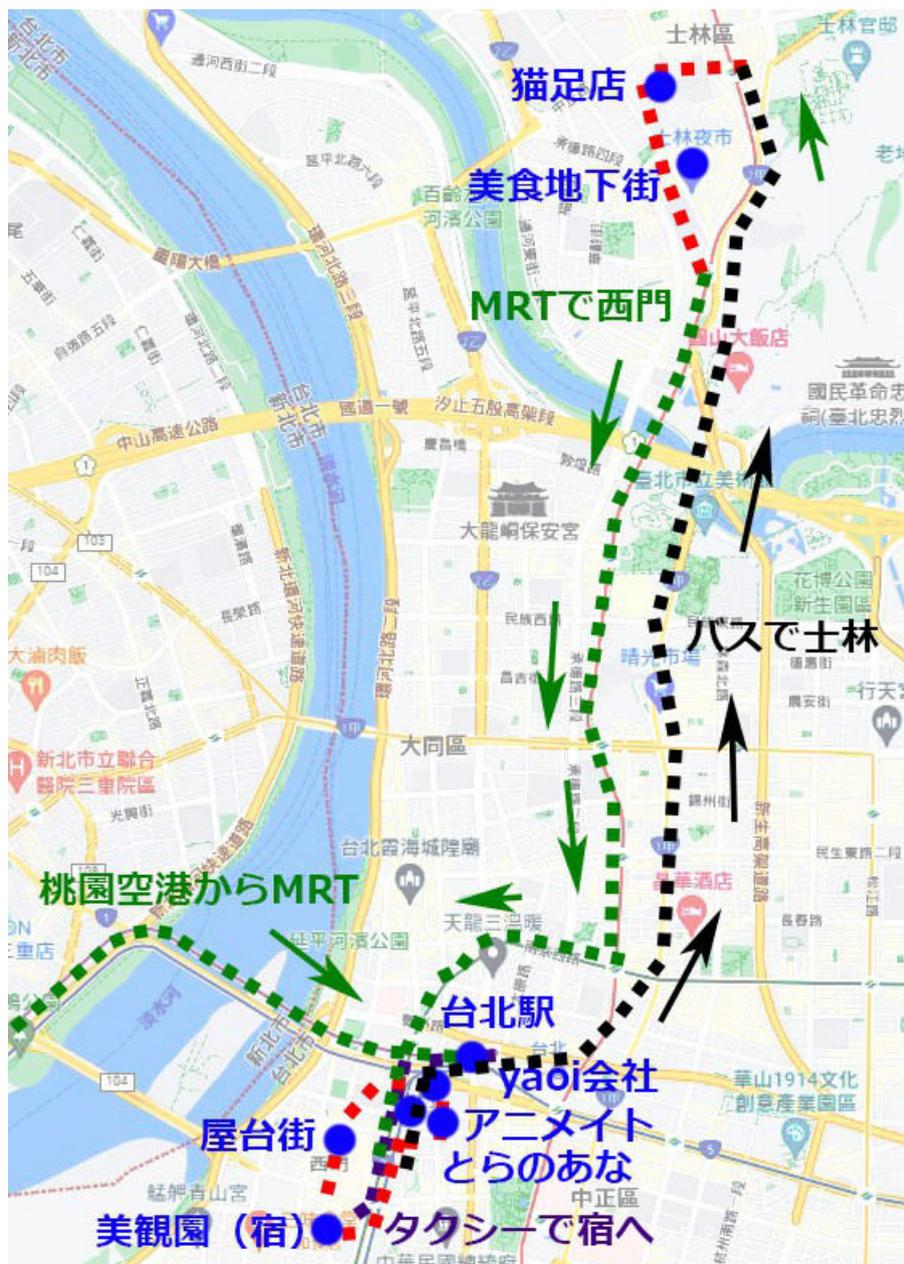
ところで今回は、台湾に到着した2月24日（金）にATMで上限2万元、帰国前日2月27日（月）に追加の5千元をおろしたのですが、帰国後の前倒し返済は3月1日（水）手数料込で20301元が89085円（この時点では月曜分が加算されておらず返済できず）、3月3日（金）に追加の5100元が22361円でした。※日本での振り込みはネットの無料枠でした

結局のところ、25000元を得るために112166円を使った計算になるので、1元=4.487円  
為替レートは1元=4.43~4.47円だったのでやはり「ATM前倒し最強！」でした。

なお自分が帰国するなり円高が進行中で本書編集中の3月24日の時点で4.31円です（笑）。

# PART 2 1日目

## 観光開始



俺たちの戦いはこれからだ。

## アニメイト

まず元が35円から45円になっても、まだ安い台湾めし。満たされた。朝の薬も飲んだ。

11時半、特にあてもなくぶらぶらと西門の散策を始めるも、やはり目当てのモノを探したほうがいいなということでアニメイトのある北門方向へ。今回の旅行では、台湾の**PUIPUI 同人誌**が発見できないかという目標を立てているので、同人誌を扱っているような書店は巡回の方向で。



まずはアニメイトへ。男女ともに欲望をここで隠す必要はないんですというメッセージに溢れた階段を地下（文字通りの意味で）に降りて店内へ。基本は女性向けが多いです。まあアニメイトなんで。

店員に自分の着ているトレーナーのPUIPUIを見せ「この本やグッズはないだろうか」と聞くと普通に話は通じて案内される。確かにコーナーはあった。しかし残念ながら日本で買えるフレーベル館の本の台湾語版しかなかったので、一冊を土産に買う。ぷいぷいは正義。

2017年に亡くなった「東周英雄伝」のチェンウェン（鄭問）先生回想本が出ており、池上遼一や寺田克也も寄稿していたので「おそらく日本語版は、出てないよな…」と思いながら中国語などは読めないものの自分土産として購入。分厚い本なのでOKですけど、630元と割とお値打ち価格。悔いなし。カネを使うために遊びに来たのだ。



# PART3 2日目

## 樟脳・阿片博物館



割と盛大に迷ってます

実は日本軍による阿片製造工場であったという先入観として「日本軍はこんな悪いことをした」みたいな展示もあるのかなと思ったのですが、そのようなトーンの展示は皆無でしたね。これはやっぱり「まずは中華民国政府が現住民族から奪った」あたりの影響なのかな…。

実は「それなら日本語のガイドもあっていいじゃん」とも思ったんですよ…ええ、ほとんど展示記事は台湾語と英語のみで、日本語は「記事の見出し」くらいしかなかったんです。まあそもそも今のご時世、樟脳はそれほど重要な戦略物資でないとも思いますが。

1階の「樟脳・阿片工場の歴史」展示を堪能したので、階段で順路を登ります。「島電生活 Power Up!」ってなんの展示だろうと思って入ったら、これは「台湾の電化の歴史」でした。この工場を稼働させるためではあるんですが、当時台湾を占領していた日本が台湾に水力発電所を建てたり電線を引いて台北の電化を進めたりとか、そういう資料などがあれこれと。政治的には「台湾を占領した日本はいいこともした」というカテゴリーに入る話でもあるので、これも日本から有志がおカネを出して日本語訳とかを充実させていいんじゃないかと僕ですら思わなくもなく。



たぶん当時の広報だと思うのですが「電線で物を干してはいけません」「ネオン近くに可燃物は置かない」「濡れた手で触ると感電します」の味のあるイラスト群。**当時のオタクへの萌え心に挑戦。**

# PART4 3日目

## ゲイサウナ



そろそろ観光も折り返し点。



すこしだけ待ってから席につき、カツカレー 115 元を注文。普通に日本のカレーライス。値段も観光客向け価格にも見えず、ふつうというか安い。とりあえず選択肢から外すこともないね。

## カードショップ GrowLife (靠過來)

14 時、それでは 15 時からストアチャンピオンシップ  
リミテッドをやるはずのマジックショップ GrowLife  
(靠過來) に移動しましょう。1 時間あるから余裕。  
オレンジの MRT (中和新蘆線) で東門へ。

ここか。確か 2018 年に FNM ドラフトを遊んだ店だと思いつつ  
入店しストアチャンピオンシップのドラフトについて聞くと、  
店員と常連客らしいのが顔を見合わせ

「**やってませんよ**」と答える。えー？ 見たところこの 2 人だけなので「不成立なら仕方ないけどドラフトがやりたかったな」と言うと「今から呼んで集めるか？」みたいなことを言い出す。どうも話が噛み合っていないのでマジック・コンパニオンを出し 15 時イベントの予定を見せると「ああコレ、**うちじゃない**ですね」という返事。この Akmigames (艾客米) はここから 100m ほど東に行った大通り沿いにありますということで「えっ!？」と思いつつも、行き方も教えてくれたので、お礼を言って足早に店を出ます (もうそんなに時間に余裕もなかったのだ)。



ただし 2018 年の同人誌を読み返したら、確かに「ここ」を Akmigames だとして書いてあるので、もしかしたら店舗移転→居抜きに別の店、ということでネットの情報が古かったのかも。

## サウナ受付

サウナ「朋群生活会館」は大通りに面しており、ほどなく到着しました。

勇気を出して入口ドアをくぐり入るわたくし。

受付ホールにはバスローブを着て、くつろんでいる十数名の男たち。自分に熱い視線が向けられているような気もしなくもないが、おそらく勘違いではなかったとも思う。ともあれ受付のオッサンと会話。



「サウナを使いたいんだけど」

「ここが**どういう店**か知っているのか？」ド直球の質問が来ました。

「知っているが、サウナだけ使うことはできるだろうか？」

「よし入れ」第一関門クリア。300 元を払い、ロッカーキーを受け取ります。

では脱衣所はどこかな、とか思っていたら、ここの常連らしい客が「こっちだ」と案内してくれました。素直に従うわたくし。ロッカールームで服を脱いで全裸になって、タオルを持ちます。不慣れな場所なので、眼鏡は装着したままで。

## サウナ体験

オッサンの案内に従い進むと、脱衣所の先に洗い場とサウナルームがありました。お礼を言って別れます。あれジャグジーどころか普通の湯舟もないのかな？…と思いつつ、まずは汗ばんだ身体を洗いました。身体を洗うだけなら宿のシャワーでもいいんですけど、やはり椅子に座って身体を洗えるのは快適です。さっぱり。

では次はサウナだな、ということで2つくらい視界に入った個室サウナに入ることにしました。あれ冷水プールもないのかな？と思いつつ、まあどのみち心臓に負担をかける入り方はできないので別にいいやと思い、そのままサウナルームに入りました。

# PART5 4日目

## みやげ購入



そろそろ帰国が見えてきた。

展示即売されているものの多くは日本の中古オタクグッズで、たまにアメコミのフィギュアを売っている所も、とっても**アメイジング商店街**（※）っぽい。あと現地の絵師が自分で描いたイラスト入りグッズを売っていたりも。



<https://www.macleod.jp/01/>

日本の古アニメのレコードを売っていて思わず声が出た。なお1枚800元。まあ妥当なところだと思う。買わなかったけど。しかし進んでるな台北。

■ 臨時休日（備考4）	1月20日	（代替出勤日:1月7日）	翌日も同じところを通りかかったらやってなかったので、このフリマに遭遇できたのはただの偶然であったことが判明します。なおこの2月27日（月）は日本では平日ですが、台湾暦では振替休日であったことを後で知りました。
■ 旧曆大晦日	1月21日	（25日に振替）	
■ 春節（旧正月）	1月22日~24日	（26日に振替）	
■ 臨時休日（備考3）	1月27日	（代替出勤日:2月4日）	
■ 臨時休日（備考3）	2月27日	（代替出勤日:2月18日）	
■ 和平記念日	2月28日		

## 習近平ーを求めて



商品  
PayPayフリマ・Y... 在庫なし  
海外限定 習近平 くまのプ...

実は今回の台北旅行で、ひそかに設定していた目標に、以下のものの入手がありました。

- ・ PUIPUI モルカーの現地グッズ
- ・ 習近平ーのグッズ

そこで「あるいはココなら買えるのでは？」と

# PART6 5日目

## 観光最終日



楽しい台北旅行もこれでおしまい。

適当に探していて、140 元のランチのある  
イタリア料理店に入りました。メニューの  
漢字がよく読めないまま注文したのですが、  
ピザかなと思ったらリゾットのようなのでした。  
まあ美味しいです。もぐもぐ。

ドリンクは自分で注いで飲み放題。

しかし朝食がまだ残っていた自分の胃には  
まだ少々重かったようなので、食べられる  
だけ食べて残しました。すまぬ。



習近プーの自分土産の絵皿、ベッドに喘いでいる  
かのように見えたので「もしや BL もの？」とも  
思ったのですが、開けてみたらコレはどうやら  
大友克洋の「童夢」のネタのようです。どっちに  
せよロクでもないシロモノですが（笑）。

おかしいな…待っても日本の友から「3 千円出す  
のでフィギュア買ってきて」の声が来ないな…。

まあ、俺もいらないんだけど。

## PUIPUI のイージーカード検索

そろそろ 13 時。楽しかった台北旅行もあと数時間で終わりです。ここままでやり残したことは…  
習近プーのグッズが入ったから、やっぱり PUIPUI グッズだよな…とは思いました。特に 1 年前に  
ファミマのフェアで出ていたらしい PUIPUI のイージーカードを手に入れたいなと思いました。  
交通カードならやはり電気屋だろうかと思い、地下街のパーツ屋などでまず訊くも何それという  
反応だったので、この方面は脈なしかなと判断。聞き方が悪かったのかもしれないけど「特殊な  
イージーカード」という言い回しが通じない。イージーカードが欲しいならコンビニに行けとも  
言われた。どうも闇雲に電気街に行っても仕方なさげ。反応次第ではあるいは再度、光華商場に  
行くというのも考えたのですが、そのプランも破棄。

もともとのこの PUIPUI のイージーカードは 2 年くらい前のファミマのフェアのグッズらしかった



新小岩マジック